

ふらべじ

Flower & Vegetable

Vol.22 2004
秋 晴 の 号 9.15

発行 北海道立 花・野菜技術センター



ゆり新品種 ‘Li-19’ (仮称)

Lillium cv. Li-19

花・野菜技術センターと中央農業試験場が育成した小輪品種で、鮮やかな花色とシンテッポウユリのような草姿が特徴です。生育が旺盛で一年球の多くを切花生産に利用できるため、生産コストの軽減も期待されています。

ご あ い さ つ

場長 青山 俊夫

「ふらべじ」～秋晴の号～をお届けします。

『雪解けまだかな』と思っていた前号 (Vol.21:’04.3.31) から5ヶ月。春の花々の競演や蝉時雨も過去のことで、ナナカマドの実も赤く色づきはじめ、季節は秋の装いを始めています。ほ場の野菜もカボチャやタマネギなどの収穫盛期となり、一年が12ヶ月は地球の何処でもおなじでも、短い春と夏を精一杯に生きる北国の生き物の健気さには敬服の思いです。

ご挨拶が遅れましたが、本年の4月に7代目のセンター場長に就任いたしました。センターは今年で開設9年目ですから、その間に7人とは相当のハイペースですが、北国の生き物の一員として精一杯努めることが肝要かと思っております。

今年の北海道は、数年続いた冷夏から一気に猛暑となり、出来秋は豊穰の秋となることが確実です。生物は恵まれた環境のなかでは遺伝子に秘めている潜在力を最大限に発揮しますので、美しく美味しい農産物に囲まれてこの一年を終えられることを喜びたいと思います。

平成16年度の主な研究課題*

花き科

- ・花ユリの新品種育成
- ・デルフィニウムの新品種育成
- ・秋切りデルフィニウムの品質向上対策
- ・球根花きのコンテナ栽培による開花調節
- ・バラの夏秋期多収高品質栽培技術の確立
- ・道央水田地帯における秋出荷花壇苗の生産技術

園芸環境科

- ・道産野菜における硝酸塩の実態と低減指針の策定
- ・かぼちゃの有機栽培における生産安定化
- ・輸入野菜の品質調査
- ・ブロッコリーの機能性向上技術の開発
- ・土壌環境に対応した果菜類の安定生産技術の開発
- ・タどりハウレンソウ等の硝酸塩濃度低減化

野菜科

- ・クリーン・省力栽培に適したメロン新品種育成
- ・リビングマルチを利用した良食味かぼちゃの省資源・省力栽培技術の開発
- ・アスパラガスの品種特性と多収維持管理法
- ・新用途トマト（中玉、加工用、調理用等）の栽培法と適応性検定
- ・いちご、ヤーコンの適応性検定

病虫科

- ・ラークスパー芯止まり症の多発要因の解明と防除対策
- ・グリーンアスパラガス立茎栽培における病害虫管理技術の開発
- ・トマト細菌病の診断法開発と発生に対応した防除対策の確立
- ・メロンえそ斑点病の総合防除対策

技術普及部

- ・たまねぎコスト削減生産技術の組み立てと実証
- ・りんどうの栽培法改善による産地支援

* 共同研究課題に関しては代表する科のみを記してあります

かぼちゃの有機栽培における生産安定化

野菜科、園芸環境科、病虫科

道立農業試験場では、全国の公立試験機関に先駆けて今年度より有機栽培に関する試験研究を開始しています。対象は水稻、馬鈴しょ、たまねぎ、かぼちゃの四品目で、当センターではかぼちゃを担当しています。



△かぼちゃの栽培試験風景

有機栽培は、慣行栽培に比べて気象条件・土壌環境等からの影響が大きく生産者の技術力が問われます。かぼちゃは他園芸品目と比べて比較的有機栽培に向けた品目といえますが、その栽培法は試行錯誤の状態にあります。一層の生産の安定化を図るためには、うどんこ病・アブラムシ類等の病害虫対策、草勢維持のための肥培管理法や雑草対策等に効果的な技術を確立する必要があります。

北海道の気象資源を有効に活用した、かぼちゃの有機栽培技術の提案を行うために、今年度は、かぼちゃを有機栽培した場合の問題点の抽出・整理を行っています。

行事

2004 公開デー

花・野菜技術センター、遺伝資源センター、畜産試験場滝川試験地共催の公開デーが8月25日に開催されました。好天に恵まれ約700名の方々に足をはこんでいただきました。



△ドライフラワー教室が開かれました。



△花の香り当てクイズ！！



△苗当てクイズ！！



△ずらり揃った農業機械を展示！！



△遺伝資源センターからは貴重な遺伝資源が展示されました。



△畜産試験場滝川試験地からはかわいい子豚が参加しました。

平成16年度 北海道花き・野菜技術研修



△研修生の皆さん



△花壇苗の定植風景

今年度で第8回となる北海道花き・野菜技術研修を行っております。

研修コースは、高度な専門技術を有する生産者や技術指導者の養成を目的とする専門技術研修、花き・野菜の基礎的な栽培技術から実践的な技術まで学ぶことができる総合技術研修の2コースに分かれています。現在、専門技術研修で2名（野菜栽培2名）、総合技術研修で8名（花きコース6名、野菜コース2名）が日々ほ場で汗を流しながら農作物からいろいろなこと（生命の神秘？）を学んでいます。

研修生の作業風景・研修視察などについては、当センターホームページ「研修Now」に随時掲載しております。

各種セミナーの開催



△ガーデニングセミナー（6月10・17日）

毎年恒例のガーデニングセミナーを開催しました。参加された皆様の自由なアイデアを活かした花壇が研究庁舎前にできあがり、夏にはカラフルな色彩が職員の心を癒してくれました。



△ペレニアルコレクション（7月24・25日）

初開催となる宿根草の見学会でしたが、定員を上回る約80名の方が来場されました。両日とも大変暑い日でしたが、花好きの皆様から熱心な質問が研究員によせられ、好評のうちに終了しました。

ホームページ随時情報更新中!!

www.agri.pref.hokkaido.jp/hanayasai/index.html

北海道立 花・野菜技術センター

〒073-0026 北海道滝川市東滝川 735 番地

Tel. 0125-28-2800

FAX. 0125-28-2165（総務部）

FAX. 0125-28-2299（研究部、技術普及部）

E-mail hana_yasai@agri.pref.hokkaido.jp